

あなたらしく、わたしらしく

らしく

vol.8

一般社団法人
長野県作業療法士会
広報誌
February 2024

特集 復職支援と作業療法



- 「作業療法士」ってどんな仕事? / よくある質問 / 作業療法士になるには
- 新人インタビュー 「作業療法士という仕事を選んだ理由」
- 作業療法士を目指す皆さんへ

TOPICS 長野県作業療法士会活動報告 作業療法士の知識・技術をお届けします

復職支援と作業療法

はじめに

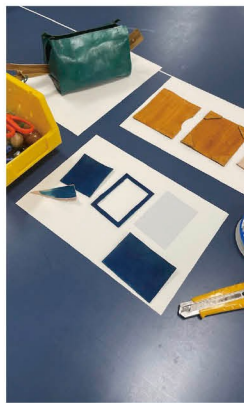
私は現在、大学病院に勤務し精神科で作業療法を行っています。精神科では、考えや行動などをうまくまとめられなくなる統合失調症、気分の落ち込みや意欲の低下により社会生活が送れなくなるうつ病、元気な時と落ち込む時を激しく繰り返す双極性感情障害の方などへの関わりが中心になります。私が勤める病院では、入院治療が必要



作業療法室

な方、外来治療で継続的な治療や支援が必要な方など対象は多岐にわたりますが、社会生活への復帰や本人にとって大切な生活行為への参加を支援することが我々作業療法士の役割です。

私は普段、入院治療を受けている方、外来通院している方に作業療法を行っています。精神科の場合、長期に渡って治療が必要になることが多く、年単位で関わりを持つ方も少なくありません。入院患者に対しては、可能な限り早くから介入し、運動や手芸などの作業活動を用いて活動機会を提供したり、病気や症状の理解を深め対処していく方法を学習してもらったりしています。外来では、生活の中で生じる悩み事などを共有して対処法を一緒に考えたり、仕事に復帰するための準備を支援したりしています。特に最近では、復職支援に力を入れております。近年、精神的に不調をきたし休職する方が増えていることはご存じでしょうか。実際に、普段の臨床場面でも休職してい

運動プログラム用
自転車エルゴメーター

制作途中の革細工



作業療法中の様子



革細工用道具棚

る方を担当する機会は多いです。生活の中で多くの時間を占める「働く」という作業を健康的に、その人らしく続けられることを目指して日々支援しています。

復職支援・リワーク

精神的な不調を理由とした休職者の割合は増え続けており、休職した方への関わり方や職場復帰の支援方法に難渋している企業の声を聞くことも少なくなありません。このような社会的背景から復職支援という取り組みが広まってきました。復職支援とは、休職している方を対象とした支援で、リワークとも呼ばれています。リワークでは、決まった時間に施設へ通い、会社へ通勤することを想定した訓練を行います。仕事に近い内容のオフィスワークや軽作業、復職後に再発しないための学習や専門的な心理療法が行われ、集団活動として軽スポーツなどが行われることもあります。これまでの働き方や考え方を振り返り、復職した時に同じ状況にならないための準備もしていきます。



信州大学医学部附属
病院 / 作業療法士
公家 龍之介 氏

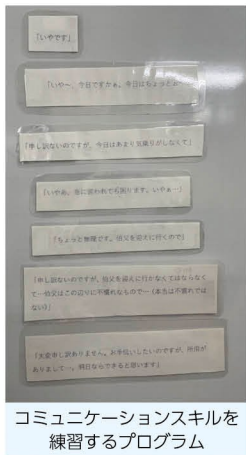
当院でのワーク

・プログラム内容

当院では、約6カ月間のプログラム期間を通して様々な学習や練習をしていきます。週5日通ってもらい、参加者同士で意見を出し合いながら、自分が陥りやすい考え方やパターンを振り



プログラムの部屋



コミュニケーションスキルを練習するプログラム



プログラム用PC

返ったり、頼み方や断り方などのコミュニケーションスキルを練習したりして職場復帰に向けた準備を進めていきます。他にも、役割分担を決めて協力しながら取り組む活動など、職場さながらの動きが必要になるプログラムも準備しております。また、定期的に面談をしながら各参加者に合わせた目標設定やプログラムを考えています。

・再休職予防プラン



成果発表会

プログラムを通して、自己分析レポートという課題を設けていきます。これは自身が休職に至った要因について振り返り、再び休職しないための行動プランを作成してもらう課題です。プログラムの最後には再休職予防プランの発表会を設け、医療スタッフの前で発表していただいています。この発表会の企画・運営自体を参加者主導で行ってもらっているので、発表会の運営自体も職場復帰の練習機会になっています。

・評価や検査

様々な評価や検査を通して自己理解を深めてもらっています。例えば、仕事能力の検査を実施して自身の得意なことや苦手なことを客観的に振り返り、どのような工夫をすれば仕事がいやしくなるのか一緒に考えています。他にも、生活リズムや体調、周囲との人間関係、職場とのやりとりなどを確認して職場復帰の準備状況を確認したり、自身の性格傾向を確認する検査なども行ったりしています。様々な視点から包括的に評価を行い、仕事上での工夫や復職後に気を付けるポイントを検討しています。

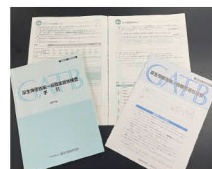
・職場との連携

職場復帰前には本人、企業スタッフ、医療スタッフによる話し合いの機会を設けています。プログラム中の本人の様子を伝え、本人が得意なこと、苦手なことを共有します。また、どのような配慮や業務調整が必要か、企業側がどの程度対応できるかを話し合いながら、職場復帰に向けた現実的なプランを考えていきます。復職後の継続したフォローアップも欠かせません。

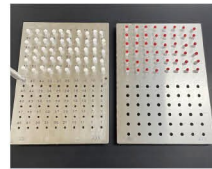
おわりに

作業療法士は、対象者の生活で多く

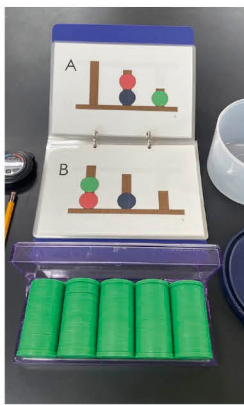
の時間を占め、その人にとって意味のある生活行為が介入の対象になります。私は現在、「仕事」という生活行為を対象として、その人らしい職業人としての生活を送れるようにと思いがから日々作業療法を提供しております。多くの人がその人らしく幸せな生活を送ってもらえるよう、今後も精進していきたいと思っています。



職業適性検査



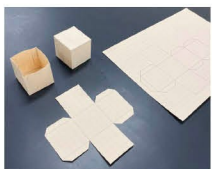
職業適性検査



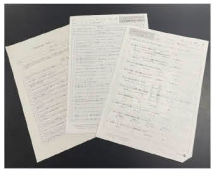
認知機能検査



箱作り法検査①



箱作り法検査②



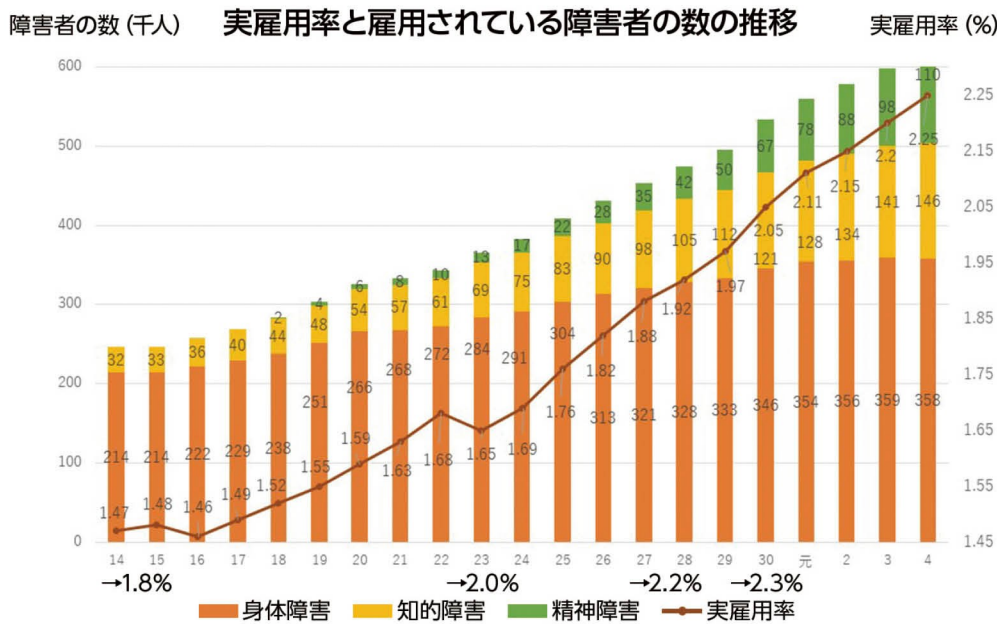
質問紙検査

復職支援と作業療法

身体障害領域の作業療法士の 就労支援への取り組みについて

「障害者就労支援」という言葉を聞いて皆さんはどのようなイメージを持ちますか？ 地域には様々な就労支援機関がありますが、身体領域における就労支援の内容はイメージしにくい部分があるかと思います。今回は障害者雇用の現状、今後の見通しを説明した上で、鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院（以下、当院）で行っている就労支援の取り組みをご紹介します。また、私が作業療法士として就労支援に関わる上で大切にしていることもお伝えします。

障害者雇用の現状と今後のことをお話しする上で基本となるのが「法定雇用率」です。「法定雇用率」は1976年に障害者雇用促進法にて義務化され、当初は1.5%でしたが、ここ数年では段階的に引き上げられており、現在は2.3%、2026年

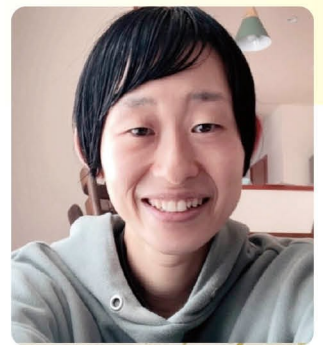


出典：厚生労働省、令和4年 障害者雇用状況の集計結果 (https://www.mhlw.go.jp/content/001027403.pdf) を著者が加工して作成

度中には2.7%に引き上げられることが決まっています。民間企業における障害者雇用者数は2021年現在で59.8万人であり18年連続で過去最高を更新しています。このことから障害者雇用は増加傾向にあり、今後も企業側、対象者側からの就労支援ニーズは高まると考えられます。障害者就労領域には身体障害、精神障害、発達障害の3領域があり、その中で今回のテーマである身体障害の雇用割合として最も多くを占めています。身体障害を

お持ちの方に対して個別の職業能力、障害者特性等を適切に評価し、より良い働き方を企業側・対象者と一緒を考えていくことに専門職が関わる意義があると云えます。

当院での就労支援としては、就労支援部会が行うものと患者担当スタッフが行うものとで2種類があります。就労支援部会には院内の就労支援に特化したチームであり、医師・理学療法士・作業療法士・公認心理士・医療相談員で構成されます。部会の中には就労支援に関する資格である「両立支援コーディネーター」や「訪問型職場適応援助者（以下、ジョブコーチ）」の資格保持者も在籍します。「ジョブコーチ」は私自身も養成講座を修了し患者様のサポートを行う上で活かすことができています。就労支援部会では就労希望のある患者様やその担当スタッフに対し、就労準備に関して困っていることがあれば相談・助言を行います。病棟担当スタッフが行うものとしては



鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院 / 作業療法士

両角 瞳氏



就業支援連絡会

個別リハビリテーション（以下個別リハ）、看護師による服薬管理などがあ
ります。個別リハでは日常生活や就労
開始に向け体力を上げること、日常生
活の自立度を上げることが優先して行
います。就労再開が目的の患者様は入
院初期から仕事のことで頭がいっぱい
になり日常生活の安定といった基本の
部分に目が向かないことがあります。
セラピストとして焦る気持ちに寄り添
いつつ、ゴールを見据えながらADL
を向上することは長期的な視点では重
要です。また、脳卒中の患者様につい
ては運動麻痺に加えて高次脳機能障害
も考慮した対策が必要です。患者様や
ご家族から同意が得られた場合は入院
期間中に企業側と電話やオンラインで
情報交換を行い、合理的配慮などを含

む企業への情報提供書の作成を行いま
す。その際、私が作業療法士として意
識していることがあります。1つ目は
後遺症が残る今までの仕事内容に戻る
ことが困難な場合は企業側に必要だが
手が回っていないことを洗い出して
もらい、その仕事を担うことができるよ
うリハビリテーション専門職の視点
で相談・助言を行うことです。患者様
にとってやりがいを感じられる仕事内
容だということももちろん大切にしてい
ます。2つ目は、後遺症が軽く元の
仕事内容に戻れた際も初期段階では仕
事内容をチェックしたり相談したりで
きる支援者をつけることです。対象者
自身に困り事がでてきた時、誰に相談
すれば良いか確認しておくといったサ
ポート面を大切に企業と連携を図って
います。企業側・従業員側のどちらも
WIN-WINになるような伝え方や提案
内容になるよう工夫しています。これ
らは「ジョブコーチ」の研修で教えて
いただき、支援する際に心がけてきま
した。

前述した相談者を決めておくことは
就労後のメンタルケアや定着率という
視点で役立ちます。このことは、高
齢・障害・求職者雇用支援機構（Japan
Organization for Employment of the
Elderly, Persons with Disabilities and



コピー用紙集め



電話場面

Job Seekers: JEED) の調査によると、
職場定着率は就業前の訓練受講やハロ
ーワーク、地域の支援機関との連携支
援がある方がない方よりも高くなる
ということにも表れていると思います。
上記以外でも当院には作業広場とい
う集団活動の場があり、各病棟から就
労希望がある方が時間管理や物品管
理、対人交流などを目的に作業に取り
組んでいます。
退院後は電話調査と外来でのフォロ



紙袋の材料



紙袋

ーを行っていただきます。電話調査では退院
後に電話にて対象者に日常生活や就労
の状況を確認し、必要に応じて支援機
関に繋ぐなどのアドバイスを行って
います。外来フォローとしては「療養・
就労両立支援指導料」の対象となる方
に対してリハビリテーション専門職が
関わります。身体障害領域の病院で行
うことができる、より質の高い就労支
援が行えるよう今後も活動を続けてい
きたいと思っています。

「作業療法士」ってどんな仕事？

「作業」って？

食べたり、入浴したり、家事をしたり、仕事をしたり、趣味活動をしたり、人の日常生活に関わるすべての諸活動を「作業」と呼んでいます。



「作業療法」って？

作業療法とは、病気やけがなどによって、からだやこころに障がいをもった人に対して、「その人らしい」生活を獲得するために、日常生活の動作や仕事、遊びなどのさまざまな作業活動を用いて、治療や支援をすることをいいます。



「作業」で社会とつながる

年齢に関係なく、日常生活に支援が必要なすべての人が、人と社会のつながりを「作業」を通じて作ります。

作業療法の対象者

体に障がいのある人

脳卒中、脊髄損傷など

心に障がいのある人

うつ病、統合失調症など

発達期に障がいのある人

脳性麻痺、自閉スペクトラム症など

高齢期に障がいのある人

認知症、骨折など



よくある質問

Q1

作業療法と理学療法は何が違うのですか？

A

理学療法では、手足の曲げ伸ばしといった運動機能の改善や、寝返り、立ち上がり、歩行といった動作の改善を目的として行われます。

一方、作業療法では、運動能力や記憶など**基本的動作能力**の改善や、食事、着替え、入浴などの**応用的動作能力**の改善、仕事や趣味といった**社会的適応能力**の改善を目的として行われます。

理学療法は基本的な動作の獲得を、作業療法は応用的な動作の獲得を目指しているといってもよいでしょう。

Q2

作業療法とは具体的にどういったことをするのですか？

A

「その人らしい」生活の獲得を目標にし、3つの能力（基本的動作能力・応用的動作能力・社会的適応能力）の維持・改善を図っていきます。以下に3つの能力の内容と訓練の一例を挙げます。

基本的動作能力 運動や感覚・知覚、心肺や精神・認知などの心身機能

- ・歩行練習や筋力トレーニングなどの運動やストレッチ
- ・手工芸や園芸、遊び、スポーツなどを介した練習
- ・パソコンを用いて記憶力や注意力などのトレーニング
- ・通電機器など最新機器を用いた麻痺上肢の機能練習

応用的動作能力 食事やトイレ、家事など日常で必要となる活動

- ・食事など生活動作の方法や福祉用具などの道具を工夫して動作練習
- ・調理、掃除、洗濯など家事動作練習
- ・手すりや福祉用具を検討し、安心安全に暮らせる住宅の環境調整
- ・意思伝達装置などを用いたコミュニケーション練習
- ・散歩や買い物など外出練習
- ・ドライビングシミュレーターを使用した自動車運転再開の支援
- ・交通機関を利用する練習

社会的適応能力 地域活動への参加、就学・就労

- ・地域活動への参加の支援
- ・方法や環境を工夫し、趣味活動の援助
- ・勉強道具や学校の環境調整や関わり方の工夫など就学に関する援助
- ・職場環境の調整など就労に関する援助

作業療法士になるには

作業療法士は国家資格です

高校卒業

国の指定する養成校に入学

大学(4年生)、短大(3年生)、専門学校(3年生、4年生)。全国におよそ200校あります。

多岐にわたる知識を学ぶ

医学的な基礎知識、作業療法についての専門的な知識、福祉に関する知識、社会学や心理学的知識などを学び、最終学年には病院・施設等での実習を行います。

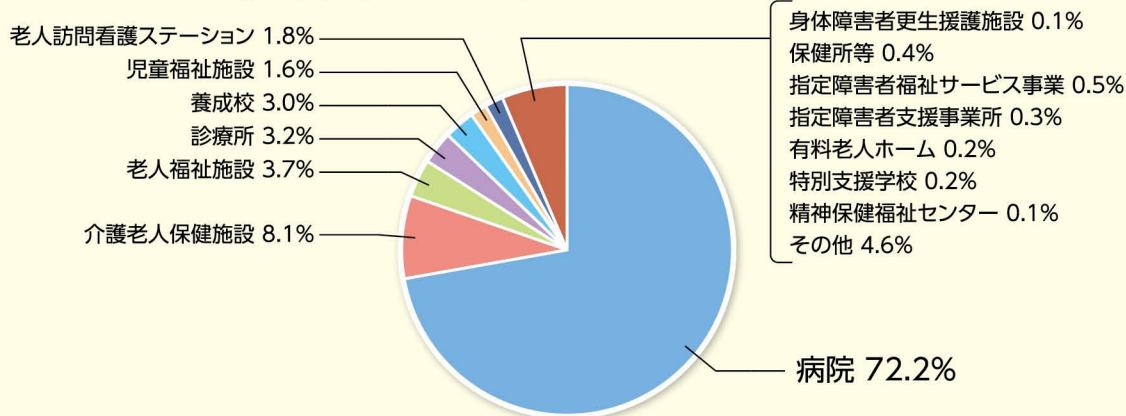
国家試験

年1回、3月ごろに行われます。2022年度の合格率は **83.8%**

作業療法士

就職先は幅広い分野です

社会のあらゆる場で活躍しています



(2019年度 日本作業療法士協会会員統計資料 日本作業療法士会ホームページより引用)

長野県内にある養成校の紹介

■信州大学医学部保健学科

〒390-8621 松本市旭3-1-1 TEL 0263-37-2356

HP <https://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/health/>

■長野保健医療大学

保健科学部リハビリテーション学科

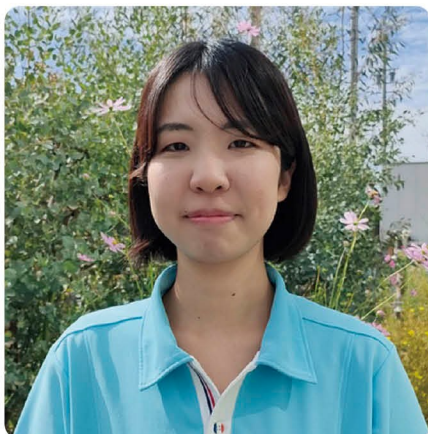
〒381-2227 長野市川中島町今井原 11-1 TEL 026-283-6111

HP <https://shitoku.ac.jp/>

「作業療法士という仕事を選んだ理由」

船津 琴美さん

(千曲荘病院／
作業療法士)



1 作業療法士という仕事を選んだ理由

作業療法士という職業を初めて知ったのは、医療系大学のオープンキャンパスに参加した時です。もともと医療職に興味を持っていたのですが、様々な職種の中から、作業活動を通して生活を支援するリハビリテーションというところに惹かれました。

2 出身校、学生時代の思い出

出身校・信州大学
作業療法学専攻の同期の仲間との思

い出が多くあります。勉強するときは勉強する、遊ぶ時は遊ぶ、とメリハリのある学生生活が送れました。試験前に一緒に勉強をした時間も楽しく、教え合うことで理解が深まりました。また、コロナ禍での制限もありましたが、久しぶりに対面授業で会えた時の嬉しさや、連絡を取り合ったりリモート交流をしたことなども、振り返ってみると良い思い出です。

3 作業療法士の魅力について (作業療法士の仕事を選んで良かったと思うこと)

ひとりひとりに合った、生活に密着した支援ができるのが作業療法の強みだと思います。たくさんの人と関わる中で様々な生活や価値観などを知ることができると魅力に感じています。また、対象者の方から作業療法の楽しさや、生活に役立つという言葉をいただく、意味のある関わりができていくのかなと励みになります。

4 作業療法ではどんなことをするのか

精神科の作業療法では、主に革細工や編み物などの創作活動、ストレッチやレクリエーションなどの集団プログラム、生活スキルに焦点を当てたプログラムなどを通して、対象者の心とからの調子を整え、困りごとや希望に支援していきます。精神疾患は目には見えにくいですが、作業を通して関わることでその人らしさや生活、作業遂行や対人交流の特徴などが見えたり、作業自体が楽しみであったり、作業の持つ力の大きさを感じられます。また、必要な方には身体的なりハビリテーションも行っています。

5 作業療法士を目指す高校生・中学生にメッセージ

作業療法士はとても魅力的でやりがいのある仕事だと思います。この広報

誌を通して、少しでも作業療法士という職業に興味を持っていただけたら嬉しいです。また、学生のうちから様々な経験しておくことが対象者と関わる中でも役に立つと思うので、素敵な学生生活を過ごしてください。

1日のスケジュール

- 8時 出勤
- 8時20分 朝会、申し送り
- 9時 病棟作業療法
- 10時 外来作業療法
- 12時 昼休憩
- 13時 病棟作業療法
- 16時30分 カルテ記載
- 17時30分 帰宅

作業療法士を目指す皆さんへ

長野県作業療法士会では、毎年高校生を対象に作業療法の職業説明会、職場体験・見学会を開催しております。将来作業療法士になりたい方・医療系の仕事に興味があり、作業療法士の仕事内容など知りたい方は、ぜひ参加してみてください。

作業療法職業説明会

令和3年度より新型コロナウイルスの感染対策として、Zoomを用いてオンラインで開催しています。令和5年度は5月7日、21日に行い、計21名の高校生が参加しました。個別の面談形式で、作業療法士の仕事内容・進路のことも、作業療法士がわかりやすく丁寧に説明します。説明の後は参加者からの質問・疑問に答える時間も設け、皆さんが知りたいことにお答えします。個別でお話できるので、なんでも気軽にご相談ください。

作業療法職場見学・体験会

毎年7月末から8月中旬の夏休み期間を利用して職場見学・体験会を行っています。会場はみなさんのお住まいのできるだけ近くの病院・施設で行えるように調整します。申し込み期間は5～6月くらいを予定しております。令和5年度は新型コロナウイルスの規制も緩和されてきたため、数年ぶりに職場見学を再開しました。短時間でしたが作業療法士とはどのような仕事なのかを体験したり、実際に作業療法士が働いている様子も見学していただきました。参加者からは、『実際に現場を見ることができ、作業療法を資料で見るよりずっと身近に感じることができた。』など、作業療法士の仕事のイメージをより深めることができたとの感想が多く寄せられています。写真は職場体験の様子です。片麻痺の患者さんはどうやって服を着るのか、参加者自身に考えてもらいました。「うーん、身体が倒れちゃう…」「そうか、こっちから通すんだ!」などと試行錯誤しながら取り組んでいました。体験を通して作業療法士の仕事についての理解を深めていただけたと思います。

また昨年度同様に、Zoomを用いたオンラインでの職場紹介も10月に開催しました。こちらは動画を用いて施設の紹介と作業療法の仕事の紹介をします。参加者からは、『作業療法士はどんな仕事内容なのか、理学療法士などとの違いは何なのかあまりわからないままでの参加でしたが、はじめから丁寧な説明があって私にもよくわかりました。』との感想をいただきました。職場見学・体験会への参加が難しい場合には、ぜひお申し込みください。

作業療法職業説明会、職場見学・体験の詳細が決まりましたら、長野県作業療法士会ホームページに掲載します。また各高校へ案内を送りますので確認をお願いいたします。

お問い合わせ先

長野県作業療法士会広報部

担当：山田剛史 Mail：kouhou.ot.nagano@gmail.com



▲はし



▲着替え

作業療法士の知識・技術をお届けします



長野県作業療法士会 事業部長 村井 貴

長野県作業療法士会の活動の目的として、「地域の皆様に作業療法士が持っている知識や技術をお伝えし、地域の保健や医療、福祉の向上に寄与する」というものがあります。

当会ではこれまで「出前講座」や「市民公開講座」として、地域の事業所に作業療法士が講師として伺いする形や、皆さまにお集まりいただく形での講座を開催してきました。市民公開講座は25年以上前から開催しており、また数年前より出前講座も行っております。しかしながら、ここ数年は新型コロナウイルスの感染拡大によって、こうした形での講座は困難な状況となっております。2023年5月には新型コロナウイルス感染症が5類となり徐々に元の生活に戻りつつありますが、医療や福祉の現場では未だに感染対策が必要な状況が続いています。

このような状況下を踏まえまして、2023年度は「オンライン市民公開講座」と「出前講座（オンライン含む）」の開催を企画いたしました。「オンライン市民公開講座」はパソコンやタブレット等で視聴していただける形の講座となっております。1編あたり30分程度の短い講義画像を収録していますので、業務の合間などの学習にも活用いただけたらと思います。また、作業療法士が在籍していない事業所等での学習にお役立ていただけるよう、基礎的な内容を取り扱っています。「出前講座」は、作業療法士のいない施設・団体に対して、施設単位の小さな勉強会として、講義や実技指導を行います。内容は高齢者・介護・健康、

子ども・発達支援、精神障害と大きく3つの項目に分かれています。それぞれ専門分野の作業療法士が講師を務め、対面型とオンライン型にて対応いたします。ぜひ活用していただき、職場内の研修や仕事に活かしていただければと思います。

近年は多くのことがオンラインでできるようになり、自宅にいながら会議や研修を受けることができ、便利な世の中になったと感じます。そんな中、対面での交流をする機会もあり、顔を合わせて交流することはやっぱりいいなと改めて思うこともありました。今後もオンラインや対面など、社会情勢を見ながら柔軟に対応し、多くの方に作業療法を知ってもらえる活動をしていきたいと思っております。今後とも長野県作業療法士会をよろしくお願いたします。

“安心と自信は学びから”
オンライン 市民公開講座

長野県作業療法士会 一般社団法人
NAGANO 長野県作業療法士会

くらしを創る しょうがいの理解と支援

～新しいよごびを共に見つけていきたい～

長野県作業療法士会では、コロナ禍前は皆さまにお集まり頂いていた市民公開講座を開催してまいりました。現在、新型コロナウイルス感染症が5類となり徐々に元の生活に戻りつつありますが、医療や福祉の現場では未だに感染対策が必要な状況が続いています。

そこで今年度も、昨年開催したオンライン型の市民公開講座を開催いたしました。1編あたり30分程度の短い講義画像を収録してありますので、業務の合間などの学習にも活用いただけます。また、作業療法士が在籍していない事業所等での学習にお役立ていただけるよう、それぞれテーマについてこれから学ぶ方を対象とした基礎的な内容を扱っています。事業所や施設内での学習にご利用いただけます。

ごあいさつ
市民公開講座、出前講座は、私たち作業療法士が、発達、精神、老年期等の領域ごとに講座を開催しています。それぞれの領域におけるしょうがいについて、現場から学んだことを皆様にお伝えするとともに、この講座に興味を持ち参加された方々が、そのしょうがいについて理解し、実践に繋げることができると考えています。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

新型コロナウイルス感染症が5類となり徐々に元の生活に戻りつつありますが、医療や福祉の現場では未だに感染対策が必要な状況が続いています。施設内での研修等にもご参加されているかと思いますが、この講座は、お申込みいただいた施設作業療法士が講師として、作業療法をお届けする「出前講座」として実施しておりますが、現在の新型コロナウイルス感染症の感染状況、講師の移動時間を考え、「出前型」と「オンライン型（Zoomによる双方向講義）」を併用させていただきます。また、講座によっては、「オンライン型」では実施できない講座もありますので、ご理解いただき、事業所や施設内での学習にご利用いただけます。

長野県作業療法士会 会長 梅田拓男
市民公開講座、出前講座は、私たち作業療法士が、発達、精神、老年期等の領域ごとに講座を開催しています。それぞれの領域におけるしょうがいについて、現場から学んだことを皆様にお伝えするとともに、この講座に興味を持ち参加された方々が、そのしょうがいについて理解し、実践に繋げることができると考えています。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

新型コロナウイルス感染症が5類となり徐々に元の生活に戻りつつありますが、医療や福祉の現場では未だに感染対策が必要な状況が続いています。施設内での研修等にもご参加されているかと思いますが、この講座は、お申込みいただいた施設作業療法士が講師として、作業療法をお届けする「出前講座」として実施しておりますが、現在の新型コロナウイルス感染症の感染状況、講師の移動時間を考え、「出前型」と「オンライン型（Zoomによる双方向講義）」を併用させていただきます。また、講座によっては、「オンライン型」では実施できない講座もありますので、ご理解いただき、事業所や施設内での学習にご利用いただけます。

令和5年度 出前講座 テーマ・講師一覧

| テーマ | 講師氏名 | 所属 | ※出一出前型のみ |
|-------------------------|-----------------|-----------------------------|------------|
| (1)認知症を持つ人の QOL | 大塚 ひとし 石塚 暢樹 | 信州大学 豊後三平山（ハビリテーションセンター） | 松本市 上田市 |
| (2)介護技術研修 | 村井 貴 | 北アルプス医療センター おふく病院 | 茅田町 出 |
| (3)高齢者リハビリテーション | 中村 亮太 山口 康子 | 看護の現場多機能型 介護施設くらひら | 刈羽郡 出 |
| (4)心臓に優しい生活の工夫 | 深津 大智 | 信州大学医学部附属病院 | 松本市 |
| (5)作業療法士と考える心不全看護 | 佐藤 佳一 | 佐久総合病院 | 佐久市 |
| (6)社会参加が生活の質から見たフレイル予防 | 小川 浩平 | 長野県代田総合病院 | 長野市 |
| (7)発達障害の気になる子どもの支援（幼児期） | 伴 洋一 近藤 康博 | 療育センターあいら 竹鼻病院 | 松本市 長野市 |
| (7)発達障害の気になる子どもの支援（学童期） | 北村 健司 | 竹鼻病院 | 長野市 |
| (8)発達障害の気になる子どもの支援（思春期） | 藤上 律子 | 竹鼻病院 | 長野市 |
| (9)自己表現（らし）の支援 | 松下 茂子 | 長野県看護大学 | 長野市 |
| (10)自己表現（らし）の支援 | 朝田 繁 | 信濃看護専門学校 | 夜叉市 出 |
| (10)精神障害をかかえる方への強し方 | 中津 彩織 千原信病院 | | 上田市 |

講座の実施期間および申込方法等についての詳細は、裏面をご覧ください。

▲2023公開講座リーフレット

▲2023出前講座リーフレット



今号の表紙 「リワークプログラム成果発表会の様子」

当院プログラム終盤には、自身で考えた再就職予防プランを発表していただく成果発表会を行っています。この発表会は、企画段階から参加者の皆様に役割を担っていただき、仕事ながらの打ち合わせをしながら運営してもらっています。仕事の役割分担や相談しながらの作業が必要となるため、他の参加者と協力しながら進めていく必要があります。難しい課題ですが、毎回素晴らしい発表会が行われ、いつも感銘を受けています。



ひとは作業をすることで

元気

になれる。



一般社団法人 長野県作業療法士会
～新しい喜びを共に見つけていきたい～

あなたらしく、わたしらしく



February 2024

●発行人：傳田 拓男
●編集：長野県作業療法士会 広報部

長野県作業療法士会

検索

ホームページ <http://www.ot-nagano.org/>